

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2274201025		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム三保松原 (布袋葵ユニット)		
所在地	静岡県静岡市清水区三保2432-2		
自己評価作成日	令和6年9月16日	評価結果市町村受理日	令和7年1月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.wam.go.jp/wamapp1/hvoka/003hvoka/hvokekka.nsf/aOpen?OpenAgent&amp;JN0=2274201025&amp;SVC=0001096&amp;JN=00">https://www.wam.go.jp/wamapp1/hvoka/003hvoka/hvokekka.nsf/aOpen?OpenAgent&amp;JN0=2274201025&amp;SVC=0001096&amp;JN=00</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	(株)第三者評価機構静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和6年10月9日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

自立支援ケアに取り組んでおり、水分量、タンパク質の摂取、個別運動の実施により、健康を維持して生活していただき、そのうえでご本人の希望「やりたいこと」「行きたい場所」の実現に向けて支援させていただいております。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

水分摂取増量への工夫、食事でたんぱく質を摂る、個別運動への支援の3本立てによる自立支援ケアに取り組む事業所です。水分は利尿作用がある珈琲や緑茶は避け麦茶やほうじ茶とし、「飲みたくない」人には寒天ゼリーを提供して1日1,500ccを目安に、多い人は2,000ccの摂取に至っていて、訪問医からも「水を飲ませてください」という言葉が無くなっています。卵、鯖などタンパク質が豊富な食材を取り入れたメニュー提供し、個別の運動は週3~4回の散歩、室内での踏み台昇降や足漕ぎペダルも盛んです。「此処を選んでくれたからこそその場所を作っていきたい」と、管理者の言葉にも施設運営への熱意が感じられます

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1対1の面談時、会議の中でホームビジョンを共有している。期末には各自の達成度の確認をして来期に繋げるようにしている。	ミッション、ビジョン、行動理念は、毎月職員に配付するA3版の勤務表の中央に記載され、日常的に目に触れることができる工夫があります。併せて個人面談や会議においても確認材料として挙げ、共有を図っています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の防災訓練やお祭りに参加させていただいている。又、クリスマスには手作りのプレゼントを保育園にプレゼントとさせていただいている。	三保本町の町内会に加入しており、佐久神社でおこなわれた防災訓練にも職員2名と利用者3名(内1名は車いす使用)で参加するほか、三保第一小学校で催された地元のお祭りにも出掛け、地域とのつながりを大切にしています	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現時点で具体的な活動はありませんが、地域交流イベントを計画し、事業所ができることを発信していきたいと考えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の運営推進会議を実施し活動報告、意見交換を行っている。地域交流のイベント実施に向けて相談もさせていただいている。	コロナ禍の影響もあり職員が中心でしたが、8月の開催には居宅療養管理指導の薬剤師や家族の出席で活気づいています。自治会長より「自治会館が新装された。使って欲しい」と提案を受け、S型デイサービスにおいて運動指南の提供を鋭意検討中です	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	補助金制度活用の際は連絡を密に取り合い協力関係を構築していた。	コロナ禍における面会用ブース、フロア毎に減圧機(空気清浄機よりも高性能)の導入を考えて補助金申請の手続きに至り、市役所とは電話でのやりとりを以って助言を仰ぎ(4~5回)、その後直接窓口にも出向き、手続きを完遂させるに至っています	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修、各フロアでのチェックシート、身体拘束廃止委員会、議事録の回覧を実施している。	本年度義務化となった「虐待防止」の取組は、年間計画に位置付けてあります。これまで実施の「身体拘束廃止委員会」を「虐待防止・身体拘束廃止委員会」と名称を変えて四半期の実施を継続させ、研修も「高齢者虐待防止研修」として年4回の実績としています	改正の通知では「一体化させてよい」となっていますが、それぞれにおいて協議したことがわかるよう、記録の整備に今後も留意することを期待します
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修、各フロアでのチェックシート、身体拘束廃止委員会、議事録の回覧を実施している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行い制度について学ぶ機会を持っている。ご家族様や関係者からの相談時に活用し支援できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前の契約、解約時に十分な説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の実施、玄関に意見箱の設置をして機会を設けている。	毎月「まつぼっくり通信」を家族へ郵送しています。通信は担当職員が利用者の日頃の様子や、行事予定などの情報を写真も交えて作成していて、今回の家族アンケートにも「通信が届くのを楽しみにしている」との言葉が挙がっています	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	本社より年に1回スタッフアンケートを実施している。又、個人面談時にも機会を設けている。	個人面談は「時間をつくれたら毎月」と管理者は考えていますが、現状は「毎月実施が必要」な人もいれば「数ヶ月に1回程度でも」という人もいます。毎月開催の全体会議とユニット会議では、多くはないものの職員意見は挙がっていて是正を図っています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談の中で改善点を共有している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	キャリアパスの励行、社内、外部研修案内の共有を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームの運営推進会議に参加させていただいている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にユニットリーダー、ケアマネージャーが同席しアセスメントを実施、ご家族様の要望も含めてアセスメントシートにて共有している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にユニットリーダー、ケアマネージャーが同席しアセスメントを実施、ご家族様の要望も含めてアセスメントシートにて共有している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の要望、希望の実現が大前提な為、当ホームで可能なサービスの確認を行いサービスを見極めるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自宅での生活をホームでもできる限り続けていただけるようなサービスを心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ホームで社署員入りの通信を作成し、ご家族様に共有させていただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームへ入居後もそれまでに続いていた関係が続けられるよう支援している。入居前に利用していたデイサービスに行くこともある。	感染症への心配から面会は玄関で15分と制限を設けていますが、「会う」ことは叶っていて、週1～月1回程の家族の来訪があります。花木が好きな人は居室に観葉植物を置いたり、「行きたい」との要望から以前通っていたデイサービスに移送支援したこともあります	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ユニット内での役割やリビングでの座席、散歩のグループも、性格や関係性を考慮し、安心して過ごしていただけるように支援している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話をさせていただいたり、退去後に利用されている施設に訪問させていただく事もある。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当者会議時に担当スタッフが気づきシートを作成し、希望、意向を把握し会議内で検討している。	職員1名が利用者2名を担当する「居室担当制」を敷いており、きめ細かな点も観察可能な状況をつくっています。また自身の担当でなくとも発語や行動の変化などを確認したときは「気づきシート」に記入し、その内容はサービス担当者会議の議場に上げられています	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメントシートやセンター方式のシートを活用して経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スマホで記録を入力し、いつでも閲覧できる状態で共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランの立案時には担当者会議を実施し、ご本人、ご家族様の希望を考慮したプランを心がけている。	「利用者の想いを実現する介護計画書を作りたい」と管理者は考えており、それを利用者から引き出したいとして、「気づきシート」やサービス担当者会議を励行しています。計画作成担当者は各ユニットにいます	家族意見は電話や面会で確認されていますが、運営推進会議の出席も始まったばかりですし、サービス担当者会議出席への案内をおこなうか否かの検討を期待します
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	担当者が記入した気づきシートを活用し意見交換を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設だから、集団生活だからと決めつけることなく、なるべくご本人の希望に沿ったサービス提供ができるよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	面会時のルールはあるが、比較的自由に、コロナ禍以前のような面会の状態。地域の防災訓練やお祭り、花火見学等の支援をさせていただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望により、必要な医療(他科受診等)が受けられるように支援している。	2週間に1回訪問の診療医は事務員と薬剤師を帯同しており、全利用者が変更しています。訪問前日までに体調などをFAXで医師に送信、立ち合いはその日勤務の職員です。なお、眼科や精神科などの専門医は基本的には家族が通院介助をおこなっています	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	外部の訪問看護ステーションとの契約により、週1回の訪問看護を実施していただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはなるべく病院に足を運び可能であれば面会をさせていただき、病院の看護師等に状態を伺うなどして早期の退院に向けて情報を共有できる状態を作るようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明しご本人、ご家族の希望を伺っている。	入居時に「重度化対応指針」を以って説明をおこない、家族の署名も得ています。人によって症状は違うので、その都度医師の診断を仰ぎ、家族の意向で対応しており、此処数年は重篤な状態から病院への移転というケースが続いています	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを設置しきょうゆうしている。救命救急講習の全員受講を計画している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を実施、前回は消防署員の方の立ち合いをいただいたが地域の方の参加は今のところない。	4月には消防車とともに消防署員3名が火災想定訓練に立ち会ってくださり、「煙を吸わないよう、低い姿勢で」「避難経路の確認は大切」等のアドバイスをいただいています。避難方法や備蓄は運営推進会議において自治会長をはじめ出席者には伝えていきます	職員の連絡網の確認はありますが、家族の安心のためにも171(災害用伝言ダイヤル)の試行を期待します

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修を実施、又、行動指針の中でも共有しており、虐待防止の中でも共有している。	言葉遣いや態度に課題がある職員も一部おり、管理者は個人面談を欠かさないよう努めるとともに、「ケア」の項目で、高齢者虐待や不適切ケアに係る明示がある「行動指針(Basics of work)」に照らした指導を全職員におこなっています	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアプランの立案時だけでなく、普段の会話から希望や思いをくみ取るように心がけ、電子記録や申し送りノートで共有している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフやホーム側の都合を押し付けることの無いようにご本人の意見を尊重する支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が着たいものを選んで着る事ができるようハンガーラックを使用している方もいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ユニットでの調理の際はご利用者様から食べたいものを伺いメニューに反映させたり、片付けなどを役割としてお願いしている方もいる。	専属の調理員がいます。物価高騰の折、食材の買い出しも難儀ですが、見た目や味、鮮度にこだわった手作りを続けています。また、おやつでは利用者とホットケーキを作ったり、ユニット毎で焼きそばにしたりと、参加型の提供にも余念がありません	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の嗜好や体調に合わせて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施。又、月に1度の訪問歯科も実施している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツ対応の方も可能な方はトイレやポータブルトイレへの介助をさせていただいている。	平均介護度は2.8で、布パンツ3人、紙おむつ6人、ほかはリハビリパンツを使用するという状況です。2名の職員で介助する人は2名います。「なるべトイレで」を励行し、維持に努めています。またパットの変更は必ず家族に連絡して了解を得ています	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量、寒天ゼリーの摂取に注力している。又、個別での運動に取り組み予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者様の希望に沿って支援している。	目安は週2回ですが、実際は本人の体調や要望によって1回だったり、3回の場合もあります。着脱着衣では体の変調も確認しており、傷の症状の大きさ、腫れの具合によっては医師や家族に連絡を入れるとともに、原因を探り、不具合があれば是正を図っています	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人個人の就寝時間の考慮や、1日の運動量、散歩や外気浴による日光浴、居室やリビングの温度設定、排泄状況を把握して支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、薬剤師と連携して適切な服薬支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメント時等で収集した情報などから、一人ひとりの嗜好や特技を把握し支援している。(散歩や楽器演奏、ぬいぐるみ対応)		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	お一人お一人の思いを把握し、近隣への買い物や散歩を実施。	特に年間行事に遠出外出を位置づけてはいませんが、日本平へのドライブや大沢川河畔に桜鑑賞に出掛けるなどの実績はあります。歩行状態にもより事業所前のテニスコートまでの人、海を眺めに出る人など様々ですが、週3、4回は散歩に出掛けています	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人での金銭管理やお小遣い等をお預かりするなどの管理は行っておりません。各個人で必要な買い物は立替えにて支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族との電話の取次ぎ、手紙のやり取りの支援を必要に応じて行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	衛生面だけでなく、落ち着いて過ごしていただけのように装飾は少なめにする等配慮している。	空気清浄機があることから窓はほぼ開けてはいませんが、共用スペースは夜勤者が清掃・消毒し、居室は遅番の出勤者が1日1部屋清掃していて、大変清潔です。装飾類は最小限という印象があり、家庭的で落ち着いた環境設定です	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様同士の関係性や、ご本人の動線を考慮した座席と、リビングと居室だけにならないように、ご本人が選択して過ごせるように工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを置いていただくなど、自分の居場所となるように工夫している。	鏡、筆筒、机は事業所で用意していますが、馴染みのものを持ちこみたい場合は、事業所が用意したものを外しています。また、自力歩行が困難となっても伝い歩きが出来る場合は筆筒などの配置を換え、あえて部屋の中を狭くして、歩きやすくしています	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレまでの動線、水道の蛇口、座布団やクッションの利用、車椅子のブレーキ、食器等の工夫をしている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2274201025		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム三保松原 (向日葵ユニット)		
所在地	静岡県静岡市清水区三保2432-2		
自己評価作成日	令和6年9月16日	評価結果市町村受理日	令和7年1月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.wam.go.jp/wamapp1/hvoka/003hvoka/hvokekka.nsf/aOpen?OpenAgent&amp;JN0=2274201025&amp;SVC=0001096&amp;JN=00">https://www.wam.go.jp/wamapp1/hvoka/003hvoka/hvokekka.nsf/aOpen?OpenAgent&amp;JN0=2274201025&amp;SVC=0001096&amp;JN=00</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和6年10月9日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

自立支援ケアに取り組んでおり、水分量、タンパク質の摂取、個別運動の実施により、健康を維持して生活していただき、そのうえでご本人の希望「やりたいこと」「行きたい場所」の実現に向けて支援させていただいております。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

水分摂取増量への工夫、食事でたんぱく質を摂る、個別運動への支援の3本立てによる自立支援ケアに取り組む事業所です。水分は利尿作用がある珈琲や緑茶は避け麦茶やほうじ茶とし、「飲みたくない」人には寒天ゼリーを提供して1日1,500ccを目安に、多い人は2,000ccの摂取に至っていて、訪問医からも「水を飲ませてください」という言葉が無くなっています。卵、鯖などタンパク質が豊富な食材を取り入れたメニュー提供し、個別の運動は週3~4回の散歩、室内での踏み台昇降や足漕ぎペダルも盛んです。「此処を選んでくれたからこそその場所を作っていきたい」と、管理者の言葉にも施設運営への熱意が感じられます

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1対1の面談時、会議の中でホームビジョンを共有している。期末には各自の達成度の確認をして来期に繋げるようにしている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の防災訓練やお祭りに参加させていただいている。又、クリスマスには手作りのプレゼントを保育園にプレゼントとさせていただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現時点で具体的な活動はありませんが、地域交流イベントを計画し、事業所ができることを発信していきたいと考えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の運営推進会議を実施し活動報告、意見交換を行っている。地域交流のイベント実施に向けて相談もさせていただいている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	補助金制度活用の際は連絡を密に取り合い協力関係を構築していた。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修、各フロアでのチェックシート、身体拘束廃止委員会、議事録の回覧を実施している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修、各フロアでのチェックシート、身体拘束廃止委員会、議事録の回覧を実施している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行い制度について学ぶ機会を持っている。ご家族様や関係者からの相談時に活用し支援できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前の契約、解約時に十分な説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の実施、玄関に意見箱の設置をして機会を設けている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	本社より年に1回スタッフアンケートを実施している。又、個人面談時にも機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談の中で改善点を共有している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	キャリアパスの励行、社内、外部研修案内の共有を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームの運営推進会議に参加させていただいている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にユニットリーダー、ケアマネージャーが同席しアセスメントを実施、ご家族様の要望も含めてアセスメントシートにて共有している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にユニットリーダー、ケアマネージャーが同席しアセスメントを実施、ご家族様の要望も含めてアセスメントシートにて共有している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の要望、希望の実現が大前提な為、当ホームで可能なサービスの確認を行いサービスを見極めるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自宅での生活をホームでもできる限り続けていただけるようなサービスを心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ホームで社署員入りの通信を作成し、ご家族様に共有させていただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームへ入居後もそれまでに続いていた関係を続けられるよう支援している。入居前に利用していたデイサービスに行くこともある。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ユニット内での役割やリビングでの座席、散歩のグループも、性格や関係性を考慮し、安心して過ごしていただけるように支援している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話をさせていただいたり、退去後に利用されている施設に訪問させていただく事もある。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当者会議時に担当スタッフが気づきシートを作成し、希望、意向を把握し会議内で検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメントシートやセンター方式のシートを活用して経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スマホで記録を入力し、いつでも閲覧できる状態で共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランの立案時には担当者会議を実施し、ご本人、ご家族様の希望を考慮したプランを心がけている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	担当者が記入した気づきシートを活用し意見交換を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設だから、集団生活だからと決めつけることなく、なるべくご本人の希望に沿ったサービス提供ができるよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	面会時のルールはあるが、比較的自由に、コロナ禍以前のような面会の状態。地域の防災訓練やお祭り、花火見学等の支援をさせていただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望により、必要な医療(他科受診等)が受けられるように支援している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	外部の訪問看護ステーションとの契約により、週1回の訪問看護を実施していただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはなるべく病院に足を運び可能であれば面会をさせていただき、病院の看護師等に状態を伺うなどして早期の退院に向けて情報を共有できる状態を作るようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明しご本人、ご家族の希望を伺っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを設置しきょうゆうしている。救命救急講習の全員受講を計画している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を実施、前回は消防署員の方の立ち合いをいただいたが地域の方の参加は今のところない。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修を実施、又、行動指針の中でも共有しており、虐待防止の中でも共有している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアプランの立案時だけではなく、普段の会話から希望や思いをくみ取るように心がけ、電子記録や申し送りノートで共有している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフやホーム側の都合を押し付けることの無いようにご本人の意見を尊重する支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が着たいものを選んで着る事ができるようハンガーラックを使用している方もいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ユニットでの調理の際はご利用者様から食べたいものを伺いメニューに反映させたり、片付けなどを役割としてお願いしている方もいる。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の嗜好や体調に合わせて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施。又、月に1度の訪問歯科も実施している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツ対応の方も可能な方はトイレやポータブルトイレへの介助をさせていただいている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量、寒天ゼリーの摂取に注力している。又、個別での運動に取り組み予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者様の希望に沿って支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人個人の就寝時間の考慮や、1日の運動量、散歩や外気浴による日光浴、居室やリビングの温度設定、排泄状況を把握して支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、薬剤師と連携して適切な服薬支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメント時等で収集した情報などから、一人ひとりの嗜好や特技を把握し支援している。(散歩や楽器演奏、ぬいぐるみ対応)		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お一人お一人の思いを把握し、近隣への買い物や散歩を実施。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人での金銭管理やお小遣い等をお預かりするなどの管理は行っておりません。各個人で必要な買い物は立替えにて支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族との電話の取次ぎ、手紙のやり取りの支援を必要に応じて行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	衛生面だけでなく、落ち着いて過ごしていただけるように装飾は少なめにする等配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様同士の関係性や、ご本人の動線を考慮した座席と、リビングと居室だけにならないように、ご本人が選択して過ごせるように工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを置いていただくなど、自分の居場所となるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレまでの動線、水道の蛇口、座布団やクッションの利用、車椅子のブレーキ、食器等の工夫をしている。		